

## 感染症情報 11月20日～26日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	914例(堺市	18例)
②溶連菌感染症	407例(堺市	44例)
③RSウイルス感染症	249例(堺市	26例)
④手足口病	125例(堺市	4例)
⑤みずぼうそう	100例(堺市	3例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	240例(堺市	13例)
---------	---------	------

が報告された。

感染症報告数は前週比3.7%増の2,121件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、手足口病、みずぼうそうの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より3%増、堺市で前週より45%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より6%減、堺市で前週より4%減であった。RSウイルス感染症は府下で前週比15%増、堺市で前週16例→今回26例で、63%増であった。定点当たりで見ると、前週が1.1で、今回は1.2であった。手足口病は府下で前週比2%増、堺市で前週1例→今回4例であった。みずぼうそうは府下で前週比11%増、堺市で前週3例→今回も3例であった。

インフルエンザは府下で前週147例→今回240例で63%増、堺市では前週7例→今回13例となった。定点当たりでは前週が0.5で、今回は0.8となった。

麻疹や風疹の報告はなかった。